



人類の情報伝達、その進歩と調和

理学療法学第一講座
教授 小塚 直樹

年齢 60 を越えると、様々なことが懐かしく、時折感慨深い時間に浸るものである。いささか旧い話となるが、ちょうど半世紀前の 1970 年（昭和 45 年）、大阪の千里丘陵で万国博覧会（EXPO'70）が開催された。当時小学生であった私は、夏休みの暑い一日をその会場で過ごした。各国が国家の威信をかけ、国内企業は社運をかけ、最先端技術をいかに盛り込んだパビリオンを展示した。会場には人気のパビリオンに長蛇の列ができ、ものによっては観覧するのに 2～3 時間待ちであった。そんな猛暑日の記憶として残っている展示物が幾つかあるが、まずはアメリカ館に展示された「月の石」…アポロ計画で月から採取された石であった。なんだか白っぽい石のようなものを遠くから「さらっと観る」のに 2 時間を費やした。その記憶と共に鮮烈な記憶として残っているのが、「ワイヤレステレホン」と「テレビ会議」であった。国内の主要企業が多くの展示館を設置していたが、その中の日本電信電話公社（NTT の前身）による電気通信館に展示されていた「未来の電話」と「未来の会議システム」である。これこそが我々が現在、日常的に使用している「携帯電話」と「オンラインでのクラウド型のビデオチャットサービス」のプロトタイプであったことは言うまでもない。インターネット回線のなかった当時、これらの情報伝達装置がどのような方法でデータ通信を行っていたのかは、私にはさっぱりわからないが、一大国家イベントに出展された電子機器であることから、恐らく膨大な予算を投入した成果物であったことには違いないと思う。さてこの二つの機器の現代版が私の中で日常化するまでには、携帯電話（使用開始は 1994 年）は 24 年間、テレビ電話（使用開始は 2018 年）はなんと 48 年間かかっている。この歳月が未来という枠の時間距離に包含されるのか…否、想定を超える驚くべき速度で、これらの機器は進化したのであろう。



私が本学に着任した平成元年当時、論文執筆のための文献検索作業は、図書館に出向くことから始まった。求める雑誌が図書館の蔵書として存在する場合、必要部分をコピーして持ち帰る。一方、蔵書にない場合、係に学外の所有図書施設で検索していただき、コピーを郵送していただくか、ファクシミリで送っていただくか、いずれにしても手元に届くまでには、時間を要した。私の専門とする小児理学療法分野に関する論文は図書館に少なく、多くの場合、ファクシミリサービスとなり、この当時の手間ひまを思い起こす度に、つくづく今の便利さがありがたい。

平成の 30 年間は、日進月歩の情報伝達に関わる技術の革新とグローバルなインフラ整備により、IT を基盤とする情報社会が大きく進歩した。学内の情報伝達に関しては申し分なく、快適に利用できることが保証されている。学外であっても環境さえ整えば、欲しい情報は手元に直ぐ届く。電子化された文献は、世界中どこでもアクセス可能となった。さらに飛行機や鉄道などでの移動中であっても短時間で検索は可能となり、論文の構成を計画し執筆をすることが出来るようになった。また今年度は期せずして、テレビ会議が身近なものとなり、各自の研究室で PC に向かっての会議参加、あるいはスマホなどの携帯端末での会議参加も可能となった。令和になり携帯電話とテレビ会議が融合、調和したことになるだろう。

今後も学内の情報伝達サービスを利用する機会はますます増えるであろうことより、その最先端技術の恩恵に与ることとシステムを常に適切に保守管理していただいていることに、深謝したい。

故中原正雄先生からのご寄附に対し感謝状を贈呈しました

令和2年10月15日、故中原正雄先生からのご寄附に対して、感謝状贈呈式を執り行いました。

中原正雄先生は、本学整形外科学講座で助教授を務められ、長年にわたり筋肉・関節の研究に従事されていましたが、昨年ご逝去されました。この度、総合情報センターへ『中原正雄 研究業績集』のご寄贈、及び、多額のご寄附をいただいたことから、中原先生の令夫人佳子様へ感謝状を贈呈いたしました。

ご寄贈いただいた『研究業績集』は中原先生の主な英文論文31編、邦文論文73編が掲載された資料です。図書館2階の教員著作コーナーにございますので、是非ご利用ください。

また、「図書館の環境や施設の整備に使ってほしい」といただいたご寄附については、学生と教職員からなるワーキンググループを立ち上げ、検討を進めております。学生からの要望が多い閲覧席数の増について、図書館2階の閲覧席を充実させる方向で整備を行う予定です。整備完了の際には改めて広報いたしますので、どうぞご期待ください。



【贈呈式の様子】

令和2年度「教員選書」図書が決定しました

医学部・保健医療学部・医療人育成センターの先生方に、学習・研究に役立つ図書や視聴覚資料を推薦していただく「教員選書」、昨年度に続き、今年度も多数の資料を推薦していただきました。

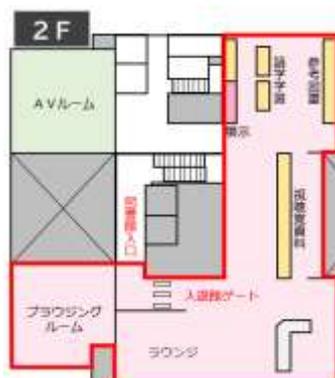
今回は140冊（洋書16冊、和書124冊）の図書が選ばれ、図書館に入りましたので、是非ご利用ください。

コロナ禍の影響で、登校や図書館の利用に制限のある状況が続いております。利用の際には、感染拡大防止策を確実に行うなど、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

図書館内の工事を実施いたします

工事中も開館いたしますが、一部利用できない箇所がございます。また、期間中は工事による騒音が発生いたします。なお、ラウンジ及びブラウジングルームが利用できないため、工事期間中は館内で飲食できません。ご迷惑をおかけしますが、予めご了承ください。

【工事場所】
※右図、赤枠内



今春、卒業・課程修了、退職予定の皆さまへ

図書館 ID カード手続きを行ってください / 受付開始は 3 月 1 日(月)からです

今春、卒業及び課程修了、退職される皆さまにつきまして、現在お持ちの学生証、図書館 ID カードではご利用ができなくなります。引き続き図書館を利用される場合は、図書館 2 階カウンターで手続きをお願いいたします。

現在の身分	4 月以降の身分	現 ID カード有効期限	新 ID カード発行手続き	新 ID カード受け渡し
医学部学生	本学研修医	4 月 1 日(木) ※	不要	臨床研修・医師キャリア支援センターより配布 (4 月 1 日以降)
	学外研修医	3 月 19 日(金)	利用申請書提出 (学外者用)	図書館 2 階カウンターでお渡し (卒業生カード)
保健医療学部学生	附属病院勤務 (看護部)	4 月 1 日(木) ※	不要	看護部より配布 (4 月 1 日以降)
	附属病院勤務 (看護部以外)		利用申請書提出 (学内者用)	図書館 2 階カウンターでお渡し (4 月 1 日以降)
	学外勤務	3 月 19 日(木)	利用申請書提出 (学外者用)	図書館 2 階カウンターでお渡し (卒業生カード)
課程修了者 ・大学院生 ・研究生 ・専攻科生	大学院生 研究生	4 月 1 日(木) ※	不要	大学院: 学務課より配布 研究生: 講座・教室より配布 (4 月 1 日以降)
	上記以外の学 内勤務		利用申請書提出 (学内者用)	図書館 2 階カウンターでお渡し (4 月 1 日以降)
	学外勤務	3 月 19 日(金)	利用申請書提出 (学外者用)	図書館 2 階カウンターでお渡し (卒業生カード/学外者カード)
教職員	学外勤務	3 月 31 日(水)		図書館 2 階カウンターでお渡し (卒業生カード/元教職員カード/ 学外者カード)
	学内勤務だが 身分や所属の 変わる方	-	利用申請書提出 (学内者用)	図書館 2 階カウンターでお渡し (4 月 1 日以降)

※ 要自己申請

■卒業式(3月19日)以降は、図書館通常開館の入館のみ4月1日まで延長できます。特別開館も入退館を希望する方は、特別入館カードを貸出しますので、カウンターへお申し出ください。

■卒業式(3月19日)以降の図書等の貸出、文献複写申込はできません。

注 1: 学生証(IDカード)は学務課へ返却、その他の方のIDカード返却は、図書館 2 階カウンターへ返却ください。

注 2: 「学外研修医、学外勤務」となる方の図書館 ID カード発行は、道内在住及び道内勤務者に限ります。道外勤務者は、学外文献複写依頼申込用の ID 番号とパスワードのみ発行可能です。



退職、修了される方は必見!!

SAINS アカウント継続利用申請について

2019年10月1日より、札幌医科大学学術ネットワーク（SAINS）のアカウントについて、**退職や修了により学内者の身分を失った後も継続利用を希望する場合は、申請書と誓約書の提出が必要**となりました。

これは、2019年に発生したメールアドレスの不正使用事案を踏まえ、アカウント管理の適正化に向けた取組を強化するものです。今後継続利用が認められたアカウントは、**1年毎の更新が必要**となりますのでご了承願います（本年度申請の継続申請期間満了日は2022年7月31日を予定）。

なお、原則すべての学外者アカウントをご利用の皆様にも継続申請の提出が必要となります。

詳細については下記ホームページをご覧ください。必要がありすが、おおよそ以下の内容となります。

- 学内者の身分を失った方がSAINSアカウントを継続するためには継続利用申請が必要
- 継続利用申請には、「継続利用申請書」と「誓約書」が必要
- 継続利用申請は1年更新
(期間満了日は翌年の7月31日。但し、申請日から翌年の7月31日まで1年未満である場合、翌々年の7月31日が期間満了日となる。)
- 2019年6月以降にパスワードを変更していない場合はパスワード変更必須

継続利用申請を行わなかった場合、学内身分を失った日より2ヶ月でアカウント抹消を実施します。
学内身分を失う期間が短い場合でも、継続利用申請をお願いします。

詳細については下記ホームページをご覧ください。

ホームページ	退職・修了等の後（学外者）のSAINSアカウント利用について https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/4675/	
--------	---	---

総務・システム係 内線: 22390/22490 Email: icccj@sapmed.ac.jp

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24180	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24170		
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LANへの機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24180	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks (バークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。



Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111 (代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp